

山形県立中央病院で診療を受けられた皆様へ

当院では、下記の臨床研究を実施しております。

本研究の対象者に該当する可能性のある方で、情報を研究目的に利用、または、提供されることを希望されない場合は、下記の間合せ先にお問合せください。

研究課題名	新規逆流防止弁付き胆管金属ステント（川澄ダックビルステント）の使用経験
該当者	2019.1.1～2020.12.31の期間中に、上記ダックビルステントを使用した方
当院の研究責任者	消化器内科 赤松学
研究代表者	消化器内科 赤松学
本研究の目的	山形県立中央病院において、切除不能遠位胆管閉塞に対してダックビルステントによる内視鏡治療を受けた方について、その有効性について検討する
実施予定期間	2019年1月1日～2020年12月31日
研究の方法	この調査では、当院の外来・入院治療において、2019年1月1日～2020年12月31日までの間に、切除不能遠位胆管閉塞に対してダックビルステントを用いた方の電子カルテに記載のある診療情報から調査を行います。
研究に用いる試料・情報の種類	年齢、性別、診断、治療経過、合併症
外部への試料・情報の提供・公表	調査研究成果を第42回山形県消化器治療内視鏡研究会で公表します。
個人情報の取扱い	利用する情報から氏名や住所等の患者さんを直接特定できる個人情報は削除します。
利益相反	本研究に関連し開示すべき利益相反関係にある企業はありません。
お問合せ先	消化器内科 赤松学 023-685-226